

中一 国語

文節相互ごの関係 第一回

主語―述語の関係

---

講師・・羽場 雅希

◆今日の授業で学ぶこと

- ・ 文節（復習）
- ・ 主語―述語の関係
- ・ 主語・述語の見つけ方
- ・ 主語―述語の型

## ◆ 文節（復習）

意味の上で不自然にならないように、文をで  
きるだけ短く区切ったまとまり。

## ◆ 主語―述語の関係

二つの文節の一方が主語、もう一方が述語に  
なっている関係。

主語：文の中で「何（だれ）が（は）」にあ  
たる文節。

述語：文の中で「どうする／どんなだ／なん  
だ／ある（いる・ない）」にあたる文節。

## ◆ 主語・述語の見つけ方

- ① 文節に区切る。
- ② 述語を探す。
- ③ 「述語なのは（の動作をするのは）何（だれ）なのか」考えて主語を探す。

### （例）

去年／トムに／もらった／素敵<sup>うで</sup>な／腕時計が／いくら／探しても／ない。

← 述語を探す

述語は「ない」という文節

← 何が「ない」のか

主語は「腕時計が」という文節

◆ 主語―述語の型

(1) 何(だれ)が(は)―どうする

(例) 先生が―勝つ。

(2) 何(だれ)が(は)―どんなだ

(例) 先生は―大食いだ

(3) 何(だれ)が(は)―なんだ

(例) 先生は―数学講師だ。

(4) 何(だれ)が(は)―ある

(いる・ない)

(例) 先生が―いる。



## 【第二問】

次の各文の主語と述語の関係としてふさわしいものを、あとの①～④からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- (1) 私がこの学校の生徒会長だ。  
(2) その机の上には昨日買ったばかりの本があった。  
(3) 母は私と一緒にデパートに行った。  
(4) 彼女はとても優秀だ。

- ① 何（だれ）が（は）――どうする  
② 何（だれ）が（は）――どんなだ  
③ 何（だれ）が（は）――なんだ  
④ 何（だれ）が（は）――ある（いる・ない）

(1)	③
(2)	④
(3)	①
(4)	②